



特42

842

吉助  
六手  
下物組















傳次  
 引之て東張居の糸  
 ありせし律の中相の糸  
 ひととせをわたりて  
 送り一かき年日まゝ  
 白ひ梅を香のつらつら  
 一かき年日まゝ  
 のび一スの男のうけ好  
 助六が宿をあらわ  
 久兵衛

本意と  
 なるゆゑの  
 公侯の  
 今更  
 風よ  
 我の  
 厭の  
 免され  
 らざえ

〇  
 目下  
 見え  
 業  
 史  
 書  
 性

揚春が宿をあらわ  
 一かき年日まゝ  
 伝六の宿をあらわ  
 久兵衛

〇  
 目下  
 見え  
 業  
 史  
 書  
 性

助六



ついでに、積巻の敷き  
 親父の、おれは、おれは  
 ろうと、おれは、おれは  
 長使の、おれは、おれは  
 毒の、おれは、おれは  
 ろの、おれは、おれは  
 おれは、おれは、おれは  
 おれは、おれは、おれは  
 おれは、おれは、おれは



今、おれは、おれは、おれは  
 金、おれは、おれは、おれは  
 太助、おれは、おれは、おれは  
 おれは、おれは、おれは  
 おれは、おれは、おれは  
 おれは、おれは、おれは  
 おれは、おれは、おれは  
 おれは、おれは、おれは



おれは、おれは、おれは  
 おれは、おれは、おれは  
 おれは、おれは、おれは  
 おれは、おれは、おれは  
 おれは、おれは、おれは  
 おれは、おれは、おれは  
 おれは、おれは、おれは  
 おれは、おれは、おれは























